

資源循環型社会 実現に挑む プラズマ科学

2023年
9月20日（水）
13:30開始

The Utilization of Plasma Science for Realizing a Circular-Economy

プラズマ相やプラズマ/液・固相界面での特異的な化学反応を利用した分子変換技術が進展している。また、金属や炭素繊維、バイオマスなどの材料を利活用する材料変換でもプラズマ技術の活用が期待される。本シンポジウムでは、資源循環に係る分子変換と材料変換について最前線の研究を紹介し、課題や展望を議論する。

【招待講演者】

渡辺 隆行（九州大学）

熱プラズマによる水素製造技術の動向

金 賢夏（産業技術総合研究所）

プラズマを用いた窒素循環技術の創出

春山 哲也（九州工業大学）

元素循環を担うプラズマ相/液相反応

高島 圭介、佐々木 渉太、金子 俊郎（東北大学）

大気圧空気プラズマを活用した持続可能な食糧生産システム

所 千晴（早稲田大学）

マテリアル資源循環の実現に向けた分離技術

守富 寛（岐阜大学・守富環境工学総合研究所）

繊維強化プラスチックの再利用技術

南 英治（京都大学）

バイオリファイナリー技術創出に向けた低温プラズマの活用



主催：プラズマエレクトロニクス分科会

世話人：辻享志（産総研）、上坂裕之（岐阜大）、八田章光（高知工科大）